岩内ゼロカーボン通信



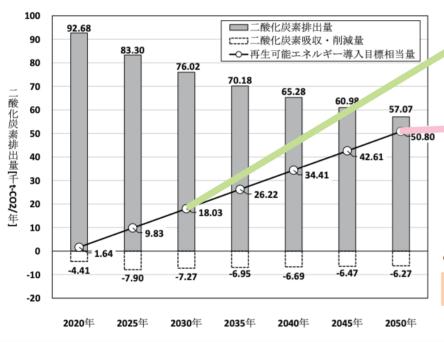
岩内町町民生活部 町民生活課 生活環境係

再生可能エネルギー導入日標の策定



・前号でお伝えしたように、岩内町は地球温暖化に対する世界や日本の取り組みに賛 同し、**2050年**までのゼロカーボン(カーボンニュートラル)社会の実現にむけて 再生可能エネルギー導入目標を策定しました。

岩内町全体における二酸化炭素排出量の将来推計と削減目標



2030年

削減目標

18.03 千 t-CO2 / 年

2050年 =ゼロカーボン

削減目標

50.8 千 t-CO2/年

この削減目標が岩内町の

再生可能エネルギー導入目標

となります。



再生可能エネルギー導入ポテンシャル

・岩内町で特に有望な再生可能エネルギーのポテンシャルは以下のとおりです。

太陽光発電 78.3 千t-CO₂

風力発電 221.8 千t-CO2

太陽熱利用 5.1 千t-CO₂

地中熱利用 15.0 千t-CO2

調査では、導入目標値である50.8千t-CO2/年に対しての再生可能エネルギーのポ テンシャルは十分にあることが分かりました。

・ ただし、単一の再生可能エネルギーのみでの目標達成は困難なため、様々なエネル ギー源をバランスよく推進していく必要があります。

岩内町の目指すべき将来の姿

- ・ゼロカーボン社会の実現に は、岩内町が目指すべき将 来の姿のように、多様な取 り組みが必要になります。
- ・この為、地域や民間企業、 住民のみなさん一人ひとり がエネルギーの利用に対し て積極的に関わることが必 要不可欠です。

用語解説

BEMS(ベムス)

室内環境とエネルギー性能の最適化を図るため のビル管理システムのこと。

CGS (シージーエス)

発電時に発生する排熱を活用し、エネルギーを 有効利用するシステムのこと。

EMS(イーエムエス)

工場やビルなどの施設におけるエネルギー使用 状況を把握した上で、最適なエネルギー利用を 実現するための活動を支援するためのシステム。

EV(イーブイ)

電気自動車の略称。電気をエネルギー源とし、 電動機(電気モーター)で走行する車。

FCV(エフシーブイ)

燃料電池自動車の略称。

PHEV(ピーエイチイーブイ)

プラグインハイブリッド車の略称。既存のガソリンエンジンを積んだハイブリッドカーにコンセントから差込プラグを用いてバッテリーにも充電できるようにした自動車。

WHP(ダブルエイチピー)

水熱源ヒートポンプの略称。



ZEB(ゼブ)

大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、 年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

ZEH(ゼッチ)

大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、 年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指し、省エネ機能と住 み心地を兼ね備えた住宅のこと。

目標の位置付け-基本方針と4つの柱-

2050年に上記の"目指すべき将来の姿"を実現させるために、現状で明らかになっている今後の取り組み課題に基づいて、まずは2030年までの7年間で取り組むべき事柄の基本方針と4つの柱を右図のようにまとめます。

基本方針

- ■再生可能エネルギーを活用した脱炭素社会の実現 ~再生可能エネルギー活用による産業振興と安全・安心の地域づくり~
 - ①自立・分散型社会の展開
 - ◆ 地域の特性に合わせた再エネの分散的な導入を推進する。
 - ②地域循環共生圏の基盤強化
 - ◆ 地域のヒト、モノ、カネを地産地消し、地域特有の資源を地域間(町内・域外)で補完し、地域の活力が最大限に発揮される地域を目指す。
 - ③観光業・第1次産業等の基幹産業振興
 - ◆ 再生可能エネルギーの導入により、住民・民間企業のエネルギーコストを最大限 削減し、競争力の高い地場産業を創出する。
 - ④地域住民の安全・安心
 - ◆ 自立・分散型のエネルギーシステムの導入により災害時にもエネルギー供給が可能となる地域の構築を目指す。